クボタ管理機

取扱説明書

TMA25

J-2504

安全宣言

安全はクボタの願い

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですので良く理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

燃料給油口

チョークレバー

ON スイッチの“入”運転

OFF スイッチの“切”停止

はじめに

このたびはクボタ製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法，簡単な点検および手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品が秀れた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになった後必ず大切に保存し，分からないことがあったときには取出してお読みください。なお，製品の仕様変更などにより，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げいただいた購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

60802-6611-1

■注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ **警 告**：注意事項を守らないと，死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ **注 意**：注意事項を守らないと，けがを負うおそれのあるものを示します。

重 要：注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補 足：その他，使用上役立つ補足説明を示します。

目 次

⚠安全に作業するために …… ⚠-1

サービスと保証について …… 1

もうおぼえられましたか？ ●各部の名称と装置の取扱い

各部の名称と装置の取扱い…… 2

作業前にこれだけチェック ●作業前の点検について

作業前の点検について…… 4

このように運転します ●上手な運転のしかた

エンジンの始動のしかた…… 6
停止のしかた…… 7
発進のしかた…… 7
ならし運転(最初の10時間程度使用まで)…… 8
ハンドル高さの調節…… 8
ハンドルの左右回動…… 8
リコイルスタートのロープ調節…… 8
抵抗棒の調節…… 9
緩衝装置が働いた場合…… 9
移動輪での運転のしかた…… 9

こんなときどうする？ ●管理機の簡単な手入れと処置

エンジンオイルの交換……10
ミッションオイルの交換……10
エアークリーナエレメントの清掃とオイル交換……11
燃料パイプの交換……11
フィルタエレメントの清掃と交換……11
燃料の抜取り……12
点火プラグの調整・清掃・交換……12
主クラッチケーブルの調節……12
ナタ爪ロータ・移動輪の取付け方……13

作業が終わったら

使用後の手入れ……14
エンジン始動不良を防ぐために……14
保管前の手入れ……14
燃料の抜取り……14

管理機を運搬するとき

自動車(トラック)への積み・降ろし……15
車のトランクへの収納のしかた……15

付 記 ●主要諸元・主な消耗部品一覧表・標準付属部品・取付け部略図

主要諸元……17
主な消耗部品一覧表……17
標準付属部品……17

トラブルと処置

エンジンが始動しないとき……19
エンジンの回転が上がらない，不安定，
出力が不足する……19
異音がして，車輪が回転しないとき……19
ハンドルのガタが多い……19

▲ 安全に作業するために

必ず読んでください。

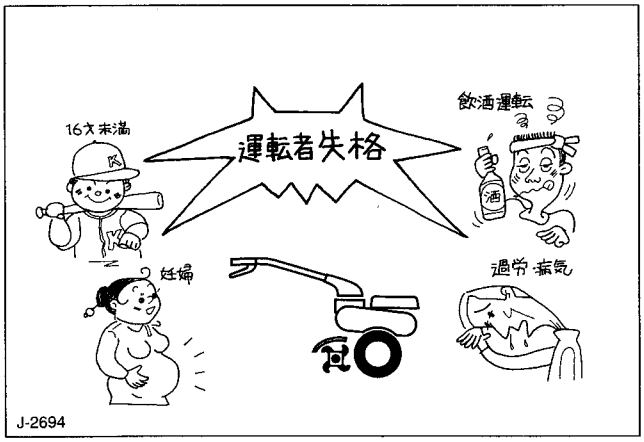
本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で▲警告・▲注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

1．運転する前に

機械の運転操作，特に主クラッチ**“切”**はすばやくできるよう，よく練習し，充分になれてから作業してください。

次の項目に該当する場合は機械を使用しないでください。

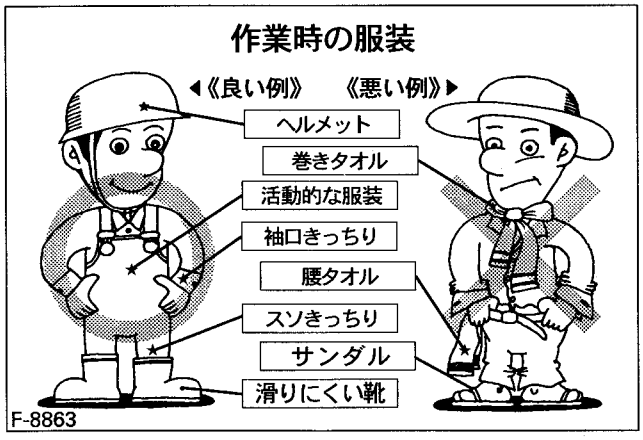
＊本書及びラベルの内容が理解できない人
＊視力不足等のため表示内容が読めない人
＊飲酒時や体調が悪い時また妊娠中の人
＊16才未満の人
＊ハンドルを操縦する体力に自信のない方



J-2694

■使用する人の服装は

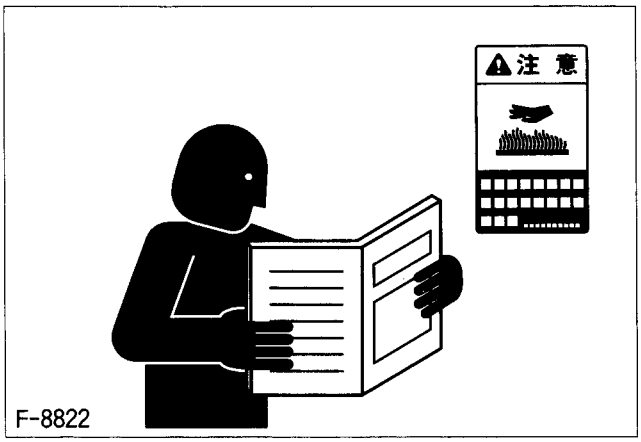
＊回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になる，だぶついた服，腰タオル等はやめてください。
＊ヘルメット，安全靴，保護メガネや手袋などを必要により着用してください。



F-8863

■他人に貸すときは

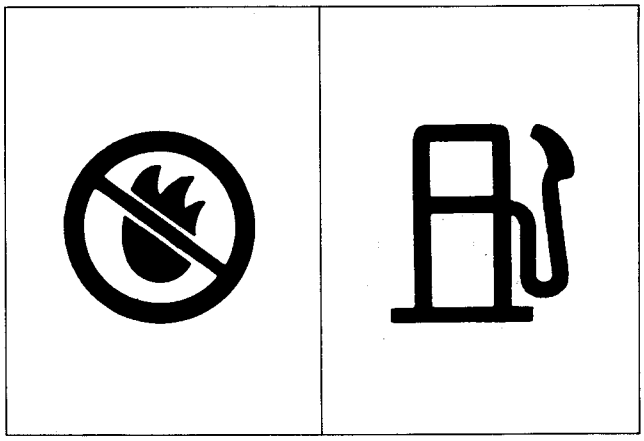
事前に運転のしかたを教え，**“取扱説明書”**を必ず読んでもらってください。



F-8822

■給油，注油するとき【火気厳禁】

燃料の給油，補給は必ずエンジンを停止しこぼれた燃料はふきとり，煙草を吸ったり火気をちかづけないでください。

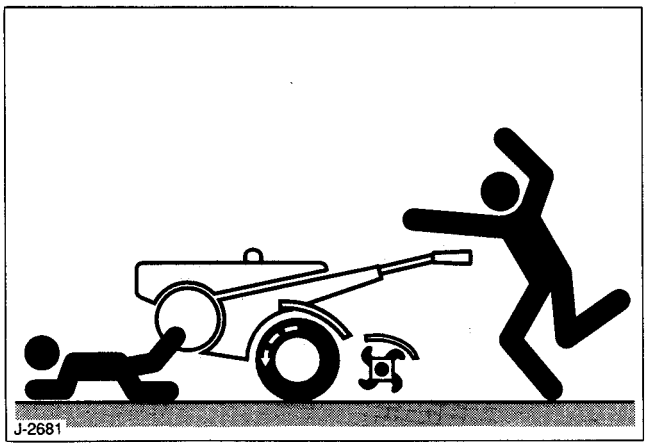


⚠ 安全に作業するために

2．始動するとき

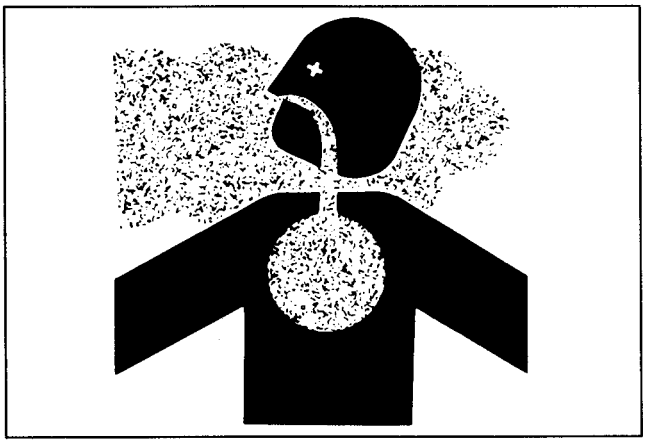
■エンジンをまわすとき

＊必ず本機，ロータリ（作業機）の主クラッチレバーを“切り”変速レバーは“中立”にして，付近に人（特に子供）をちかづけないでください。もし主クラッチや変速が入っていると車体や爪軸が急に動いて事故になる恐れがあります。



■排気ガスに注意

排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがある換気の悪い所（ハウス，車庫等）では使用しないでください。

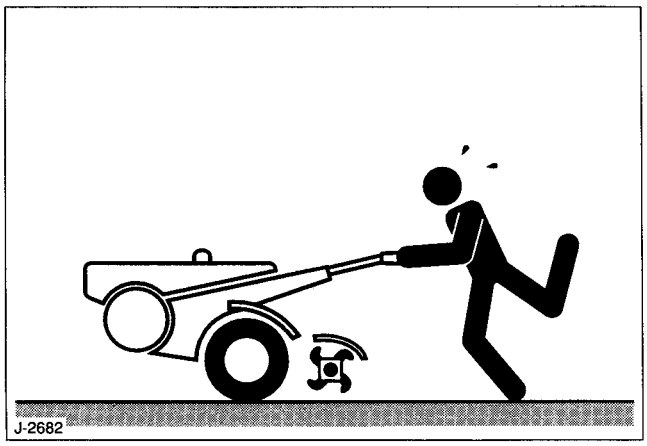


3．移動，作業するとき

■発進するとき

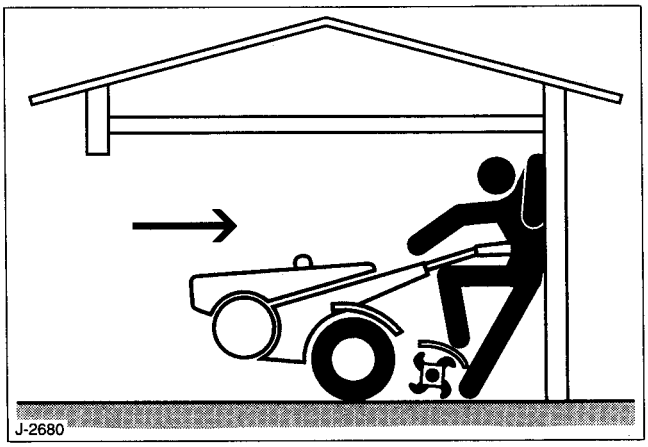
車速の最低速で主クラッチレバーの“入”はゆっくり，“切”は素早くの操作を習熟した上で使用してください。

小走りになるようなスピードを出したり，急発進，急旋回はしないでください。



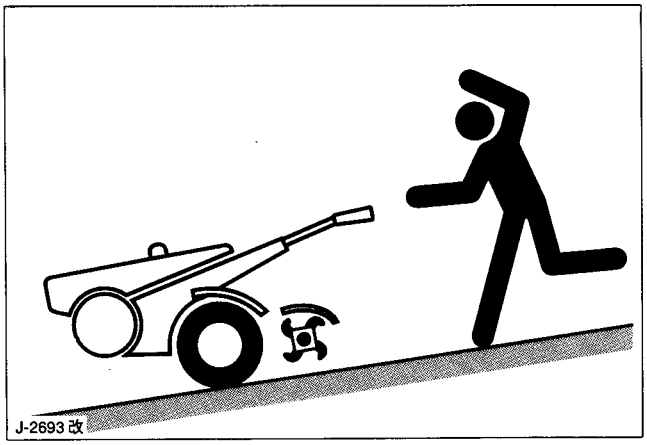
■ハウス，車庫等での移動

後方の壁，支柱，天井など障害物にはさまれる恐れがありますので遅い車速で後進してください。



■坂道を移動するとき

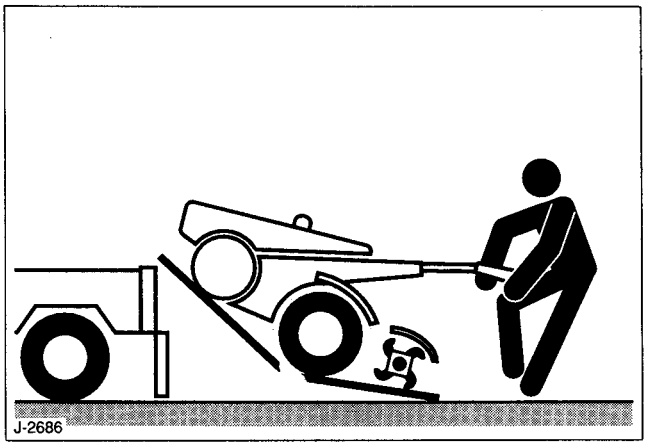
坂道，ほ場の出入り，畦の乗り越え等の途中で主クラッチを**“切”**ったり，変速を**“中立”**にすると，機体がおもわぬ方向に進み危険です。変速操作は，平坦な場所以外では行なわないでください。また，坂道や凹凸，カーブの多い路上で高速運転すると，転倒したりして危険ですから必ず低速運転してください。



■積み・降ろしするとき

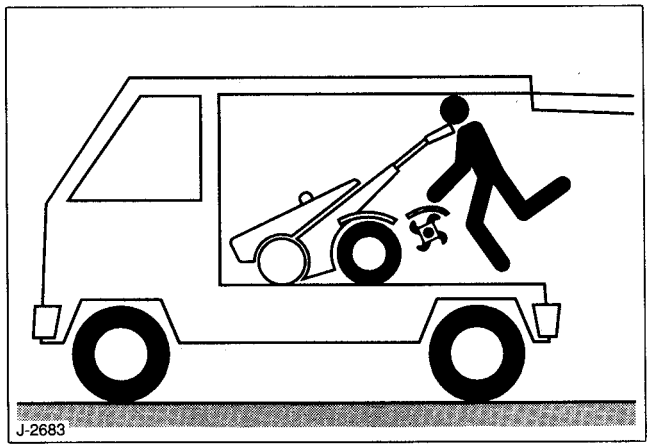
アユミ板は丈夫ですべり止めのあるものを使用し，確実に固定してください。

足元に注意し，車速は最低速で，上りは**“前進”**下りは**“後進”**で行い，途中で主クラッチを切ったり変速操作をしないでください。



車などで運搬するときは，必ず荷台に天井がない車を使用してください。

天井と機体にはさまれる恐れがあります。

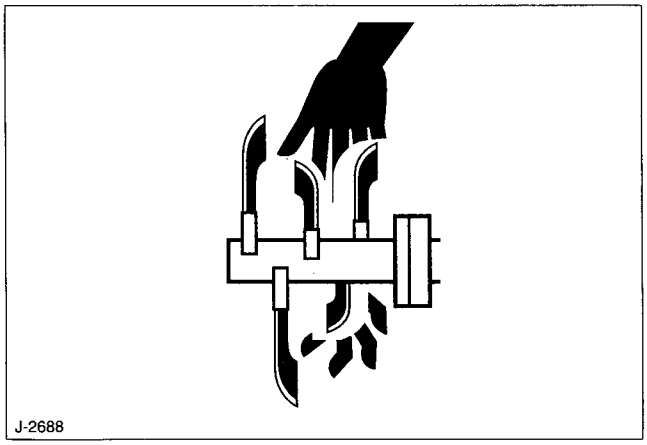


▲ 安全に作業するために

4．作業が終わった時

■点検，整備をするとき

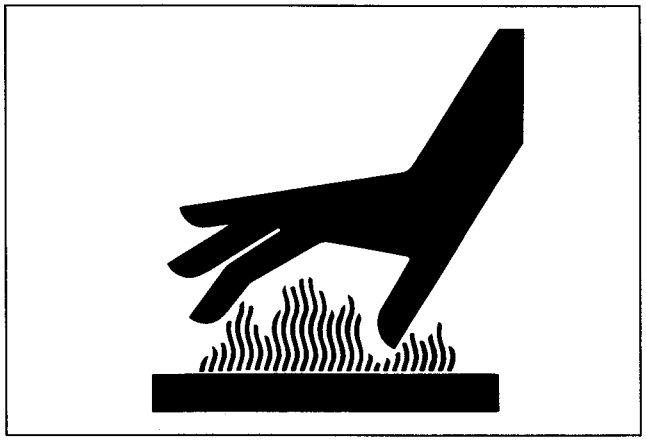
車軸（ロータ）爪軸（ロータリ）等に巻き付いた草，ワラ，泥土等を取除くときは，巻き込まれる恐れがあるので，必ずエンジンを停止してください。



J-2688

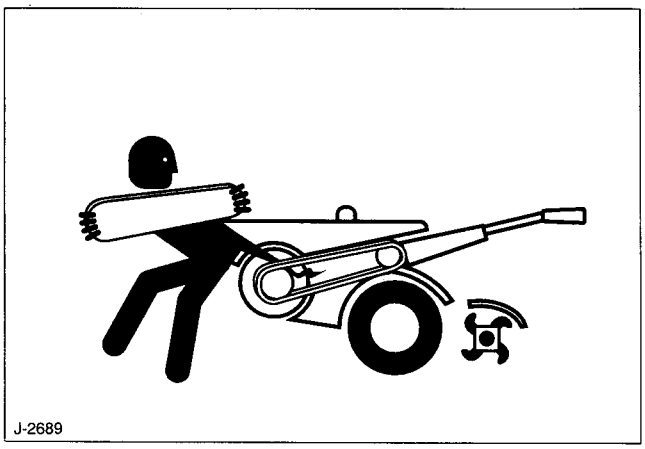
5．点検，整備をするとき

点検，整備，アタッチメントの脱着などは機械が転倒しない平坦な所にスタンドを立てエンジンを止め，高温部が冷めてから行ってください。



■カバー類は必ずつける

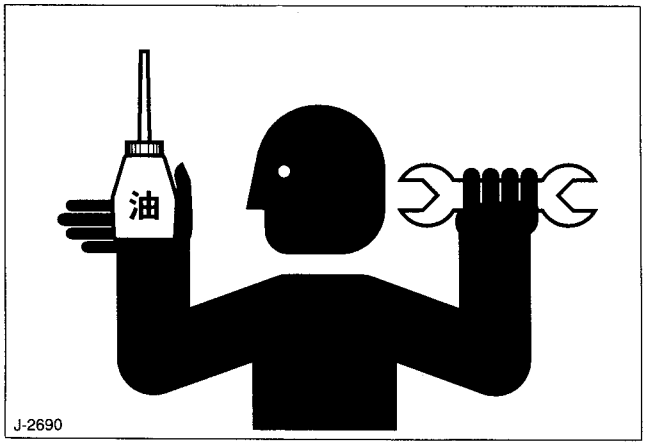
ベルトカバー，PTO軸カバーなどの防護カバーを取り外すときは，巻き込まれる恐れがあるので，必ずエンジンを停止してください。
取り外したカバー類は元どおり組み付けてください。



J-2689

■1年毎の定期点検を

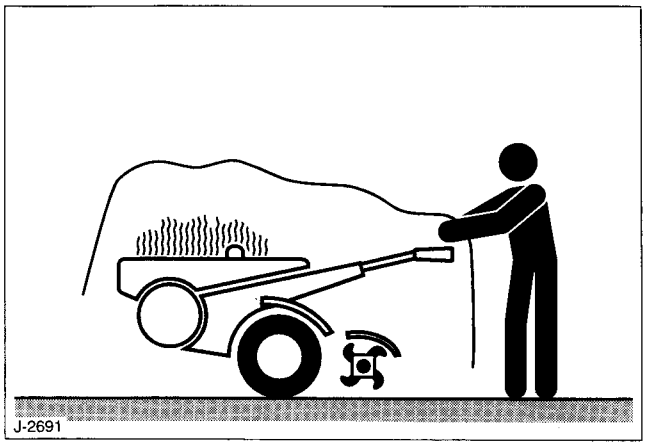
機械の整備不良による傷害事故などを未然に防止するため1年毎に定期点検，整備を受け特に燃料パイプは2年毎に交換して安全に作業出来るようにしてください。



J-2690

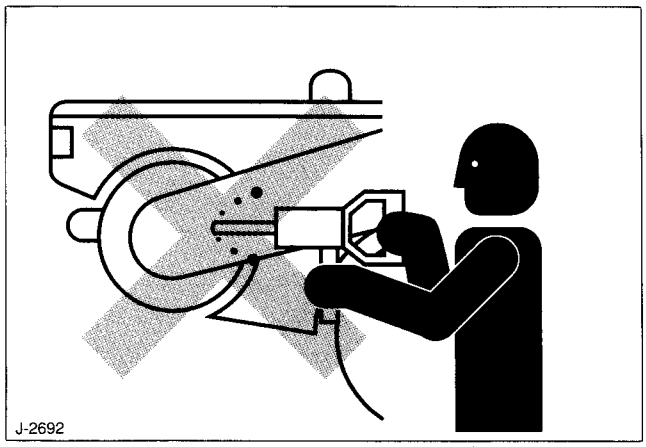
■格納するとき

機体に保管用カバーをかけるときは火災予防のため高温部が冷めてから行なってください。



■機械の改造禁止

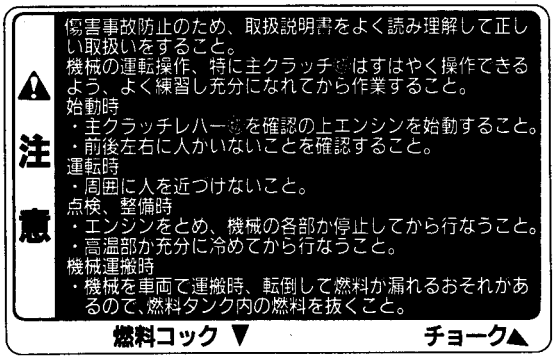
機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながる恐れがあります。



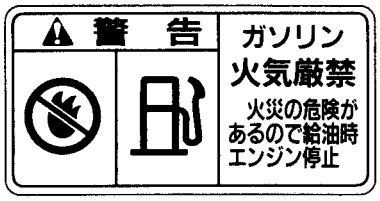
▲ 安全に作業するために　必ず読んでください。

6．▲表示ラベルと貼付位置

① 品番　12763-8725-1

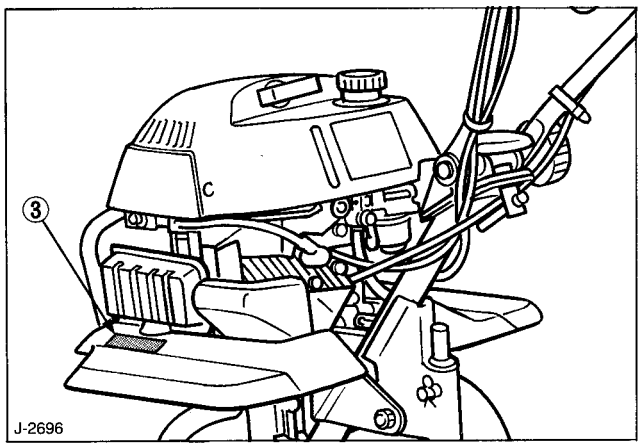


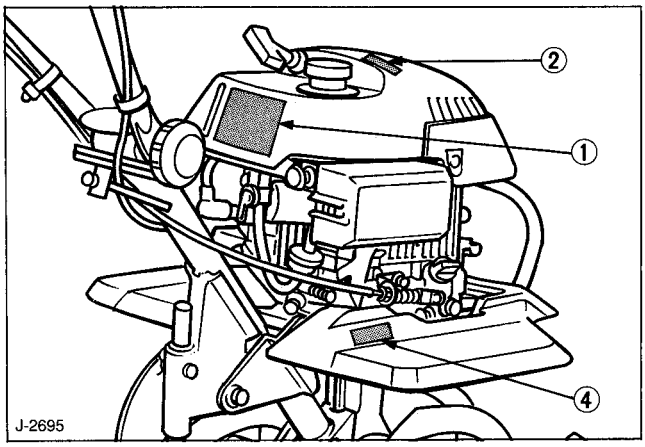
② 品番　60932-4821-1



③ 品番　60932-4825-1

④ 品番　60802-4828-1





7．▲表示ラベルの手入れ

(1)ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
　もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
(2)高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
(3)破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
(4)新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
(5)ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますのでご使用前によくご覧ください。

■ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先に，それぞれ**“ご相談窓口”**を設けておりますのでお気軽にご相談ください。
その際　(1)管理機名称と車台番号
　　(2)エンジン名称とエンジン番号
を併せてご連絡ください。
なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

警　告

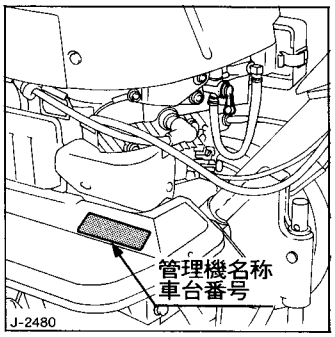
＊機械の改造は危険ですので，改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

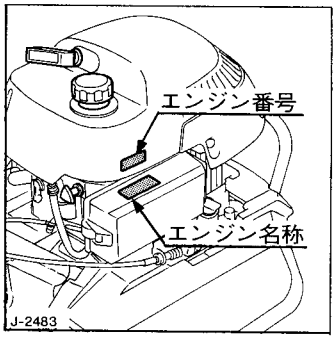
注　意

＊トレーラ走行はできません。
小型特殊自動車の認定を受けておりません。
一般公道でのトレーラ走行はできません。

◆安全鑑定番号

クボタTMA25…… 15124





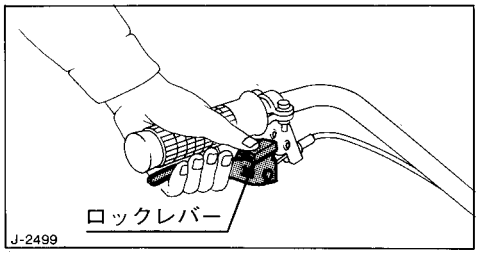
もうおぼえられましたか？　●各部の名称と装置の取扱い

主クラッチレバー

エンジンから車軸への動力を断続します。

＊主クラッチを切るときは，クラッチレバーを握ると自動的に固定され，手を離しても戻りません。

＊主クラッチを入れるときは，クラッチレバーを握りロックレバーを押すと，固定が解除されます。

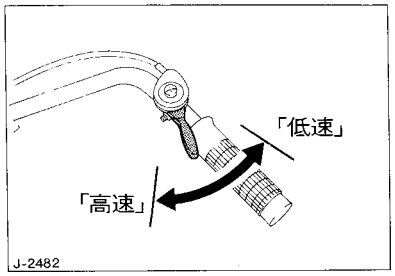


注　意

＊傾斜地・狭い場所で作業する場合，主クラッチはゆっくり操作してください。

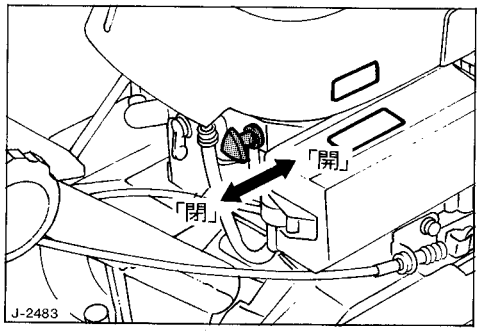
スロットルレバー

＊エンジンの回転速度を調節します。



チョークレバー

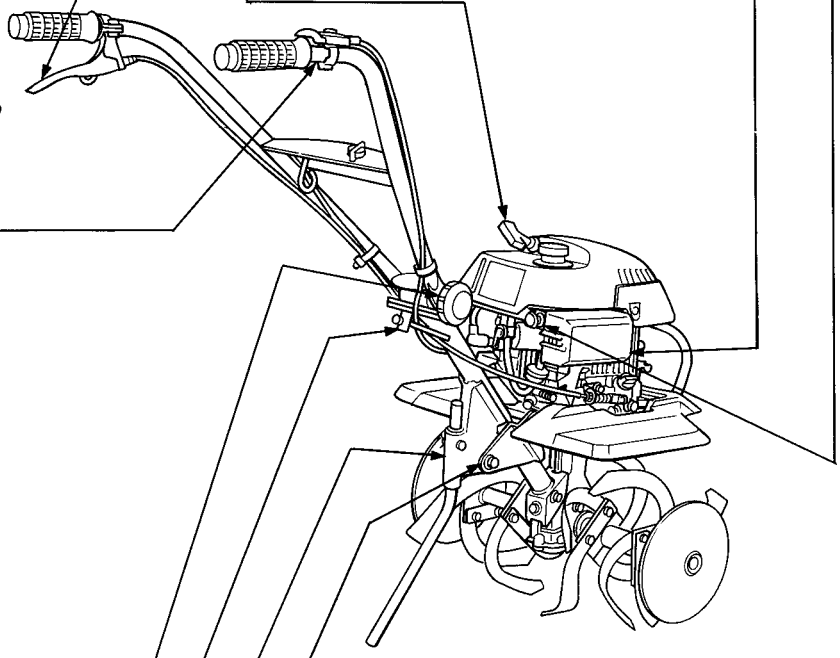
＊エンジンが冷えているときの始動時に操作します。



リコイルスタータ

＊エンジンを始動する装置です。

エアークリーナ



ハンドル高さ調節ノブ

＊**“ハンドル高さ調節”**の項参照。

ハンドル回動レバー

＊**“ハンドルの左右回動”**の項参照。

ヒッチ

＊抵抗棒・その他作業機を取付けるところです。

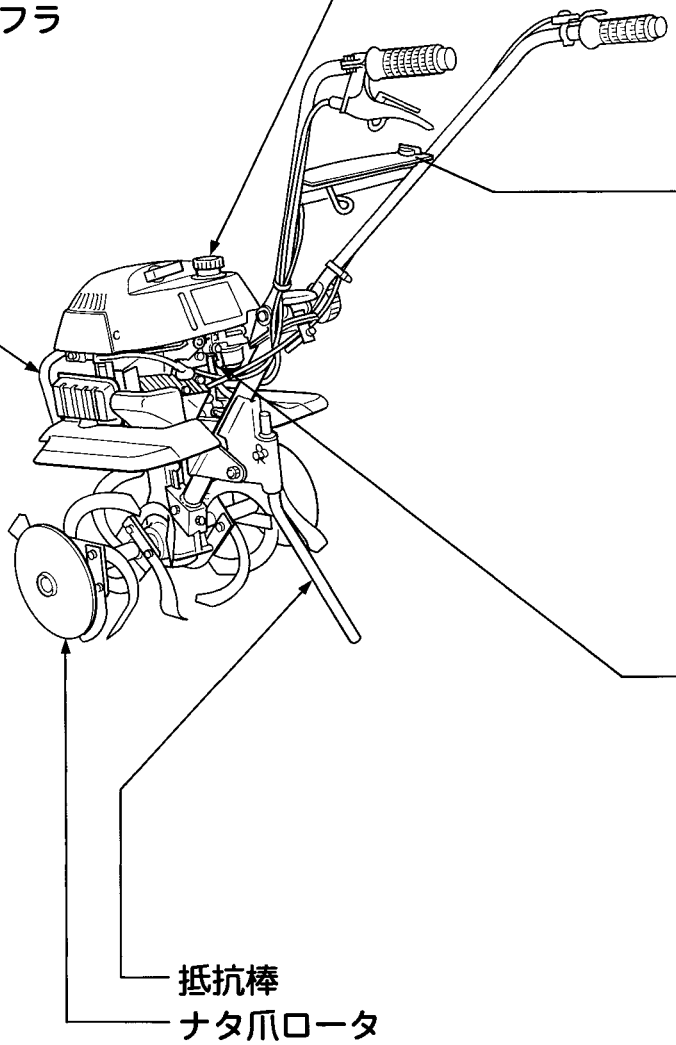
ハンドルフレーム締付けボルト

＊**“車のトランクへの収納のしかた”**の項参照。

燃料タンクキャップ

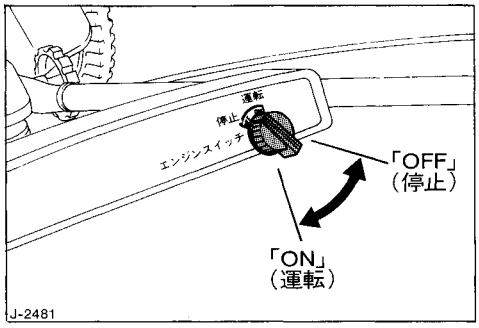
＊自動車用レギュラガソリンを使用します。

マフラ



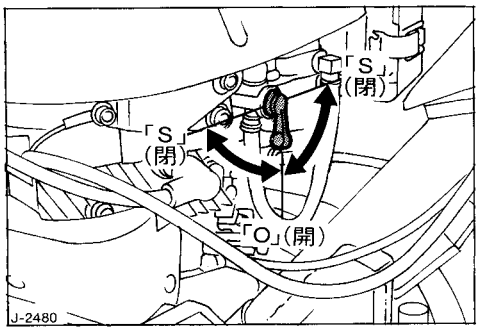
エンジンスイッチ

＊エンジンの始動・停止するときに操作します。



燃料コック

＊燃料タンクからエンジンへのガソリンの流れを断続します。



抵抗棒

ナタ爪ロータ

重　要

エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めること。コックを開いた状態で，前に倒したり車両で運搬すると，エンジン始動が困難になる場合があります。

作業前にこれだけチェック　●作業前の点検について

注　意

＊点検時はエンジンを停止してください。

＊調子良く作業するために　〔詳細は**“管理機の簡単な手入れと処置”**の章参照〕

燃　　料

➡自動車用無鉛ガソリンを補給します。

➡タンク容量……約1.0ℓ

警　告

＊ガソリン給油中はエンジン停止・火気厳禁。くわえ煙草での給油はしないでください。

＊ガソリンがこぼれたときはきれいにふき取ってください。

重　要

＊水やゴミを混入しないようにしてください。

ミッションオイル

➡機体を水平にして，レベルゲージで規定量あるか点検します。

➡不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。（M80B又はM90）

エンジンオイル

➡エンジンを水平にして，レベルゲージで規定量あるか点検します。

➡不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。
（夏……G30　　冬……G20）

エアークリーナ

➡エアークリーナエレメントにゴミが付着していないか点検します。

各ケーブル

➡ケーブル注油部より，エンジンオイルを注油します。

そ　の　他

➡エンジン，ミッションなどから油もれがないか点検します。

➡各しゅう動部へエンジンオイルを注油します。

➡各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検します。

＊安全に作業するために

主クラッチ

➡クラッチの**“入”“切”**が確実に行えるか点検します。

➡不良の場合は調整・注油します。

電気配線

➡被覆が溶けたり破れていないか，また配線がはさまれていないか点検します。

エンジン周辺部

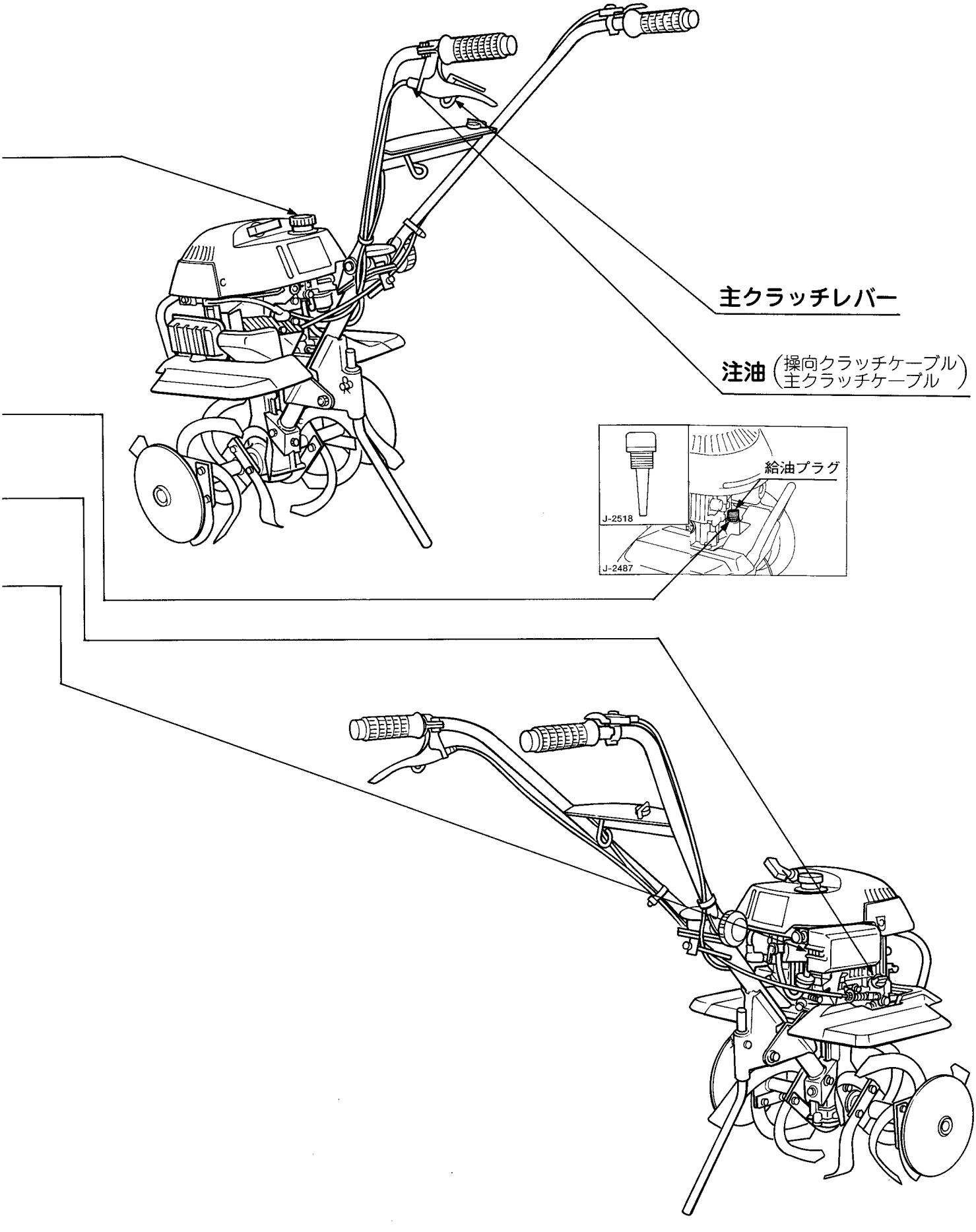
➡ファンカバーやマフラカバー内にゴミやワラクズの付着がないか点検します。

ガソリン漏れ

➡タンクや燃料パイプからガソリン漏れがないか点検します。

➡自動車用無鉛ガソリンを補給します。

➡タンク容量……約1.0ℓ


主クラッチレバー
注油 (操向クラッチケーブル 主クラッチケーブル)
給油プラグ
J-2518
J-2487

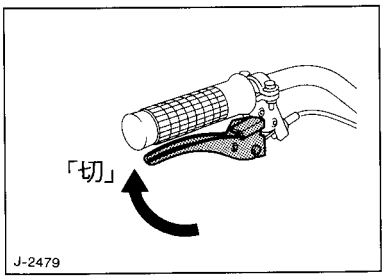
このように運転します　●上手な運転のしかた

エンジンの始動のしかた

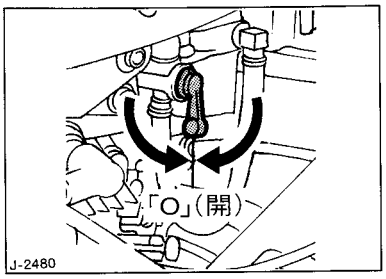
注　意

＊マフラの排気方向に，燃えやすいものがないか確認してください。
＊リコイルスタータの引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてください。
＊エンジンを始動するときは，主クラッチレバーを必ず“切”にしてください。
＊エンジン運転中，マフラに手を触れないでください。

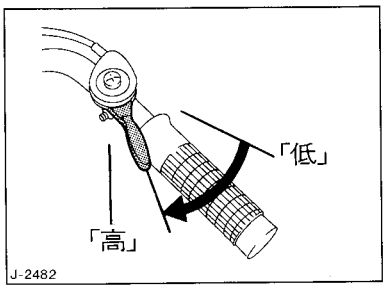
❶主クラッチレバーを**“切”**にします。



❷燃料コックを**“開”**にします。



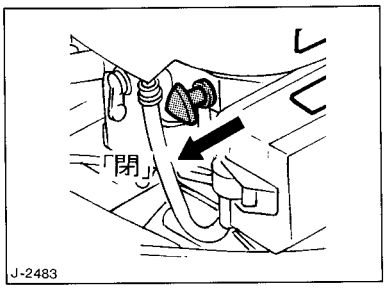
❸スロットルレバーを**“高”**と**“低”**の中間の位置にします。



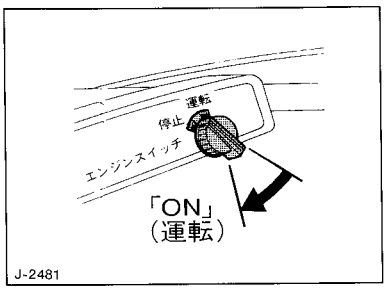
❹チョークレバーを引き**“閉”**にします。

補　足

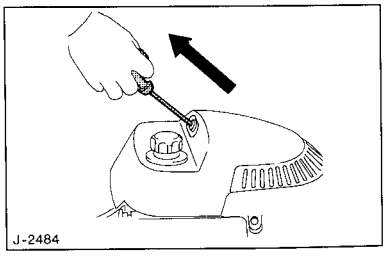
エンジンがよく暖まっているときは，チョークの操作は不要です。



❺エンジンスイッチを**“運転”**にします。



❻リコイルスタータハンドルを握って，引張ります。
エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。



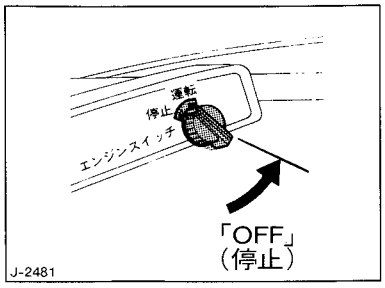
❼エンジンの運転調子を見ながら，チョークレバーを徐々に戻します。

補　足

＊2～3分暖機運転を行ってから，作業を始めてください。

停止のしかた

❶主クラッチレバーを**“切”**にします。
❷アクセルレバーを**“低”**にします。
❸エンジンスイッチを**“停止”**にすると，エンジンが停止します。
❹燃料コックを**“閉”**にします。



重　要

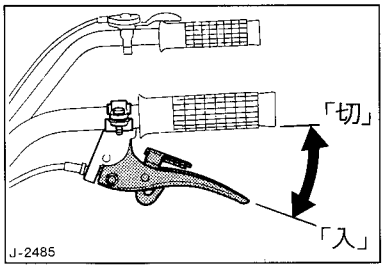
＊コックを開いた状態で保管したり，前に倒したり，また車両で運搬すると，エンジン始動が困難になることがあります。

注　意

＊エンジン停止後は，しばらくマフラが熱くなっていますから，手を触れないでください。

発進のしかた

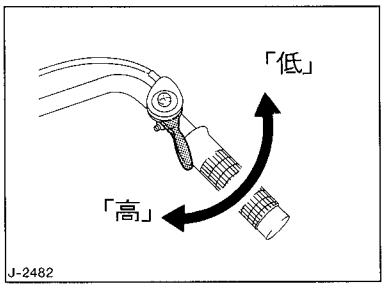
❶主クラッチレバー**“入”**にすると発進します。



注　意

＊主クラッチレバーの操作は，ゆっくり行ってください。急激な操作を行うと機体が飛び出し危険です。
＊移動輪を取付けて移動するときは，必ずスロットルレバーを“低”の位置にし，エンジン回転を下げてください。
スロットルレバーが“高”の位置でクラッチ“入”（主クラッチレバーを離す）にしますと，機体が飛び出し危険です。
＊機体を持上げるときは，必ずエンジンを止めてください。ロータが回転して危険です。

❷スロットルレバーを上げて速度を調節します。

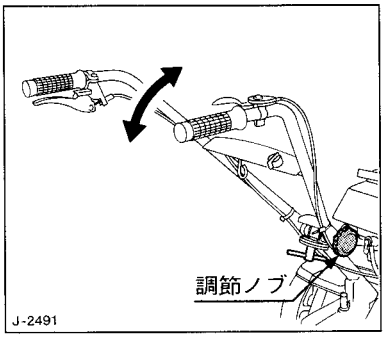


ならし運転（最初の10時間程度使用まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用は避け，無理をさせないようにしましょう。

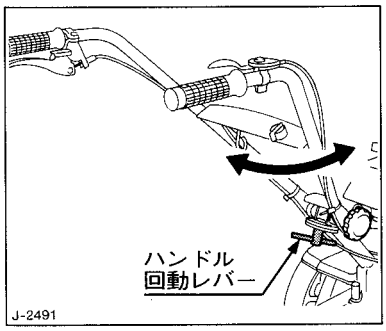
ハンドル高さの調節

ハンドル高さ調節ノブを4～5回転ゆるめて，高さを調節してください。
ハンドルがガタつく場合は，六角部分をスパナで締付けてください。



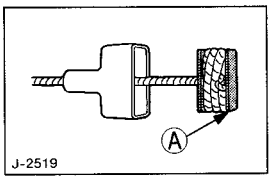
ハンドルの左右回動

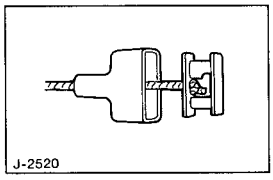
ハンドル回動レバーを4～5回まわしてゆるめると，左右にそれぞれ1段階（左右各22.5°）ハンドルを回動できます。



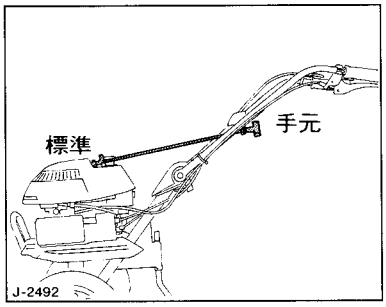
リコイルスタートのロープ調節

(1)リコイルハンドルを手元で使用する場合，ハンドル内より取出したⒶからロープをほどいて長くします。ロープを延長できる長さは約30cmです。





(2)標準の位置で使用する時は(1)の逆の操作で，Ⓐにロープを巻いて短くします。

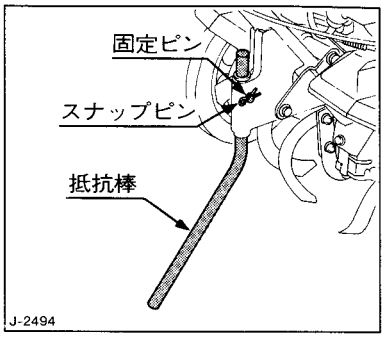


重　要

＊長くしたままで標準の位置に取付けると，ロープが巻き取れず，破損の原因となります。
＊ハンドルを手元で使用する場合，ロープの引き代は約100cmとなりますので，それ以上は引張らないでください。

抵抗棒の調節

ヒッチ部に抵抗棒を入れ，使用したい高さに調節します。
(1)抵抗棒は 2 段に調節できます。
(2)調節後，固定ピンを差し込み，スナップピンで固定します。



緩衝装置が働いた場合

警　告

＊車軸回りの障害物を取り除くときは，必ずエンジンを停止してください。

車軸が障害物により回転できない場合や，大きな力が加わった場合に機体保護のため，内部で緩衝装置が働き，車軸の回転が止まりますが，故障ではありません。
次の要領に従って行えば正常に戻ります。
❶すぐに主クラッチレバーを**“切”**りにします。
❷スロットルレバーを**“低速”**にします。
❸エンジンを止めます。
❹車軸回りの障害物を取り除きます。
❺エンジンを始動させたのち，スロットルレバーを**“低速”**に戻します。
❻主クラッチレバーをゆっくり**“入”**りにします。
❼車軸が回転すれば正常です。

重　要

＊車軸に障害物を引掛けないように使用してください。
＊機体の内部で緩衝装置が働いた場合，すぐに本機を止めてください。

移動輪での運転のしかた

注　意

＊スロットルレバーが“高”の位置でクラッチ“入”(主クラッチレバーを離す)にしますと，機体が飛び出し危険です。

移動輪を取り付けて移動するときは，必ずスロットルレバーを**“低”**の位置にし，エンジン回転を下げてください。

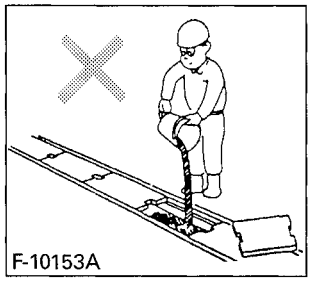
こんなときどうする？　●管理機の簡単な手入れと処置

注　意

＊給排油・点検・調節・清掃はエンジンを停止して行なってください。
＊機械を安定させて行なってください。

廃油処理について

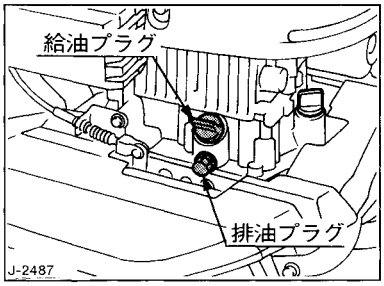
＊抜取った廃油は廃油処理業者へ依頼し，処理してください。
＊廃油を溝や空地などに絶対に捨てないでください。



エンジンオイルの交換

■排油のしかた

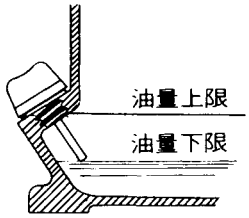
機体を水平にして，給油プラグを外し，そのあと排油プラグを外し，排出してください。



■給油のしかた

エンジンを水平状態にして，給油口の口元まで入れます。

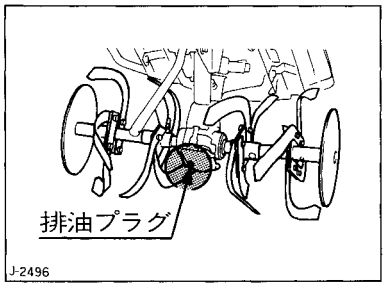
交　換		オイルの種類
第1回目	以　後	
25時間使用後	100時間使用ごと	クボタ純オイル（ガソリン，エンジン用）冬G20，夏G30



ミッションオイルの交換

■排油のしかた

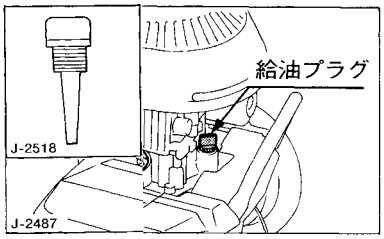
機体を水平な状態にして，排油プラグを外し排油します。



■給油のしかた

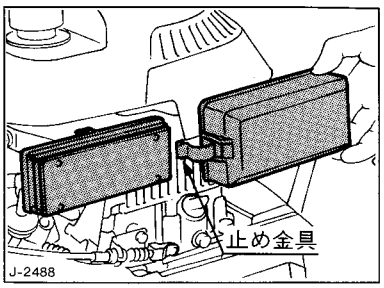
機体を水平な状態にして給油プラグを外し，給油口から給油します。

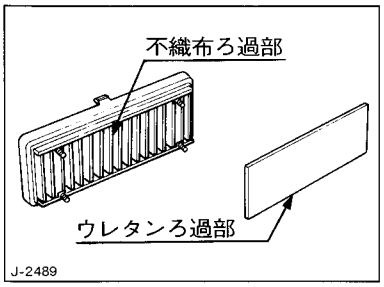
交　換		オイルの種類
第1回目	以　後	
50時間使用後	100時間ごと	クボタ純オイルM90又は，M80B（ミッション用）



エアークリーナエレメントの清掃とオイル交換

❶エアークリーナの止め金具を外し，エレメントを取出します。
❷ウレタンろ過部は叩いてホコリ・ゴミなどを落とします。
❸不織布ろ過部は叩いてホコリを落とし，更に圧縮空気を内側から吹付けて清掃します。
❹ケースに付着したゴミをきれいにふき取ります。





重　要

＊汚れたまま使用しますと，エンジンの出力低下や故障の原因になります。

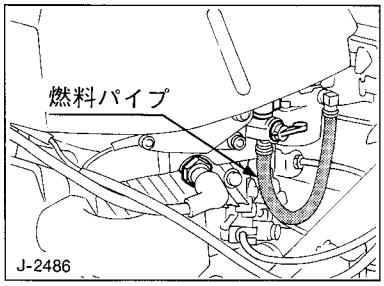
エレメント（オイル）	清掃	通　常	20時間ごと
		ホコリの多い場合	毎　日
	交換	汚れがひどいとき	

＊エレメントの着脱は，風の少ないところで行い，気化器の中にゴミが入り込まないよう注意してください。

燃料パイプの交換

燃料パイプは自然劣化したり傷があると，ガソリン漏れして火災の原因となります。ヒビや割れが発生したものは新しい燃料パイプと交換してください。

交　換	2年間ごと



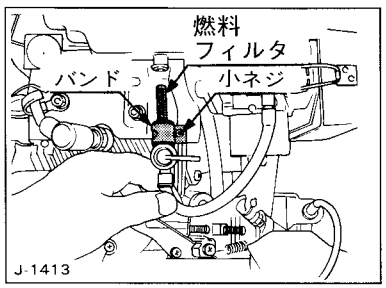
フィルタエレメントの清掃と交換

注　意

＊取付け後ガソリン漏れがないか確認してください。

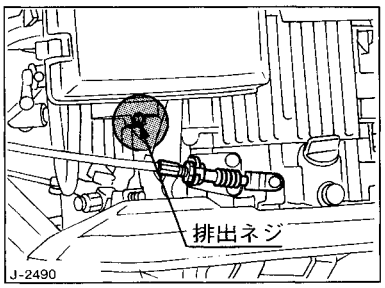
❶燃料タンク内のガソリンを抜きます。
❷燃料コック上部を締付けているバンドの小ネジをゆるめて，下に抜くとフィルタを外せます。
❸フィルタエレメントを清掃してください。

清　掃	50時間使用ごと
交　換	汚れがひどいとき



燃料の抜取り

燃料タンク内はポンプなどを使用して抜取り，気化器内は排出ネジをゆるめて全部抜取ります。



注　意

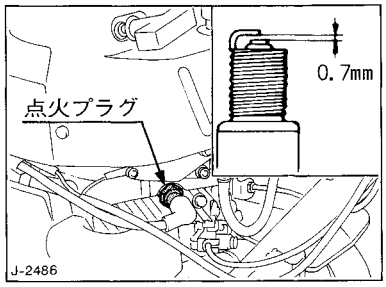
＊燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。

点火プラグの調整・清掃・交換

❶ボックススパナでプラグを外して電極を清掃します。
❷電極のすきまが0.7㎜になるように調節してください。

調　節	50時間使用ごと

点火プラグ	NGK B4-H,又はデンソーW14-F

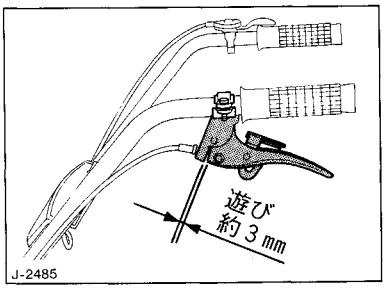


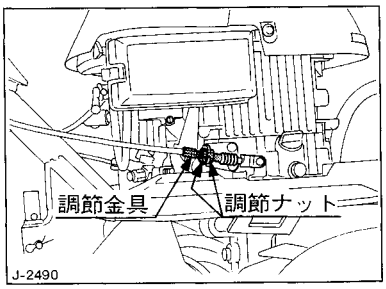
重　要

＊締付け時は，ネジ山をつぶさないよう，はじめ手で締込んでから，ボックススパナで締付けてください。
＊調節・清掃してもエンジンが不調のときは，新しいプラグと交換してください。
＊プラグを外したまま始動しないでください。

主クラッチケーブルの調節

❶主クラッチを入れた状態でクラッチレバーの遊びを調整します。
❷調整はケーブルの調節ナット（２コ）で調節金具を前後して行ないます。
❸調整後，調節ナットを確実に締付けてください。
❹主クラッチレバーを握ってロックレバーを固定した状態（クラッチが**“切”**の状態）で，車軸が軽く回ることを確認してください。





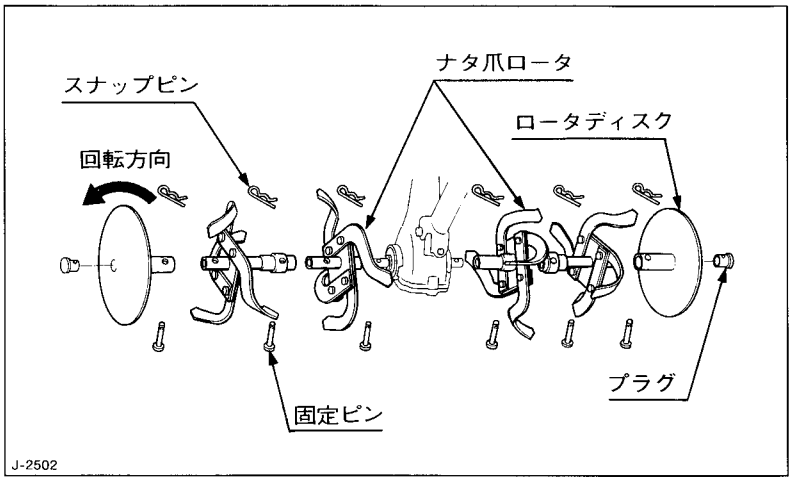
注　意

＊主クラッチを調整するときは必ずエンジンを停止してください。

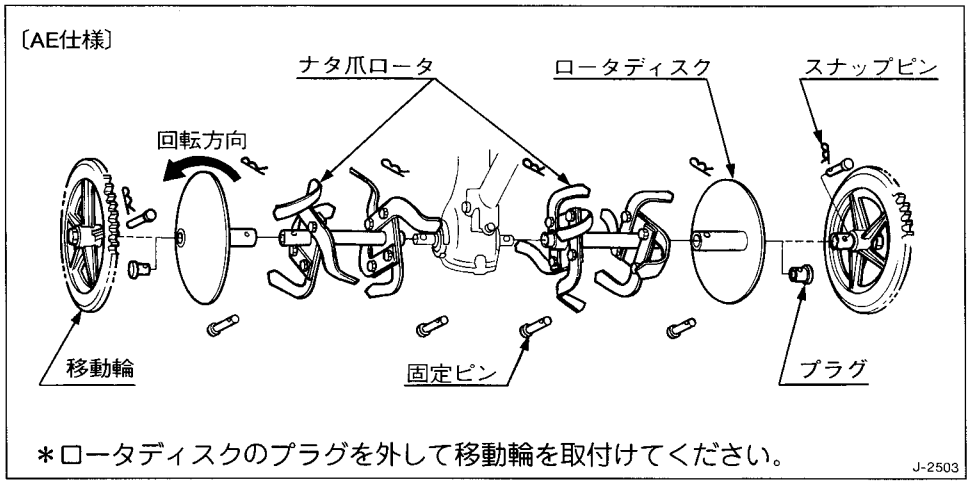
ナタ爪ロータ・移動輪の取付け方

ナタ爪ロータ・ロータディスク及び移動輪は，下図のように固定ピンを差込み，スナップピンで固定します。

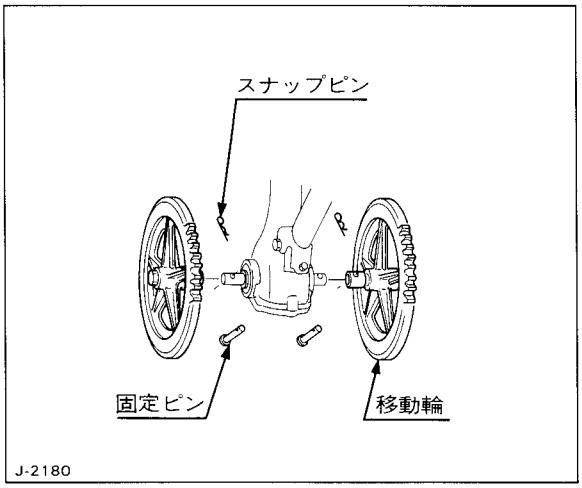
◆分割型ナタ爪ロータ(C仕様)



◆1体型ナタ爪ロータ(A仕様)＋移動輪(E仕様)



◆移動輪のみ(狭いあぜ道を移動する時など)



重　要

＊ロータを交換するときは，必ず燃料コックを“S”(閉)にしてください。

作業が終わったら

使用後の手入れ

使用後は，必ずその日のうちに清掃を行い，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部はさびないよう油を塗布してください。

重　要

＊水洗いのときには，エアークリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。

エンジン始動不良を防ぐために

エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めてください。

重　要

＊コックを開いたままの状態で，保管したり，前に倒したり，また車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難になる場合があります。また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

保管前の手入れ

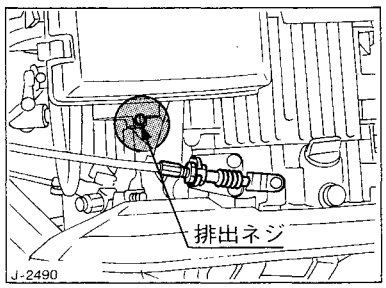
⑴主クラッチレバーは**“入”**の位置にして，保管します。
⑵エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するためリコイルスタータハンドルを引張って，圧縮位置で止めておきます。
⑶燃料タンク・キャブレターの中のガソリンは全て抜取ります。（１ヵ月以上使用しないとき）
⑷カバーをかけ，湿気やホコリの少ない場所に置いてください。

注　意

＊カバーをかけたり，納屋に格納するときは火災の危険があるため，エンジンが冷えてからにしてください。

燃料の抜取り

１ヵ月以上使用しないとき，燃料タンク内のガソリンはポンプなどを使用して抜取り，気化器内は排出ネジをゆるめて，全部抜取ってください。



重　要

＊燃料をそのままにしておくと，燃料タンクや気化器内のガソリンが気化して，次の始動が困難になります。

注　意

＊燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。

管理機を運搬するとき

自動車(トラック)への積み・降ろし

注　意

＊あゆみ板は，丈夫ですべり止めのあるものを使用してください。
＊ロータを装着して，あゆみ板の上り，下りは危険ですから絶対にしないでください。
＊トラックへの積み・降ろしは，エンジンを停止して行ってください。

❶トラックを平たんな場所に止め，駐車ブレーキを掛けます。
❷あゆみ板を荷台に確実に固定します。
❸ロータを装着しているときは，移動輪，または突起の小さい車輪と交換して行ってください。
❹上り，下りはエンジンを停止して，主クラッチレバーは**"切"**で行います。
❺機体は荷台にロープで確実に固定します。
❻機体にロープを掛けるときは，主クラッチレバーを**"入"**にして，後部ヒッチ・前部プロテクター(取っ手)・ハンドル部２ヵ所を固定してください。
❼燃料コックは**"閉"**にします。
❽雨天時は，カバーをかぶせてください。

重　要

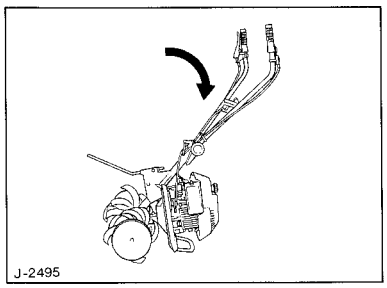
＊ロープを掛けるとき，レバー類や樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気をつけてください。
破損したり機能が損なわれる恐れがあります。
＊カバーをかぶせないで運搬すると，雨水や砂ホコリが入りクリーナ性能が低下します。
＊燃料コックを"開"いたまま運搬すると，キャブレター内でガソリンがオーバーフローし，エンジン始動が困難になります。
またクランクケース内にガソリンが流入することもあります。

車のトランクへの収納のしかた

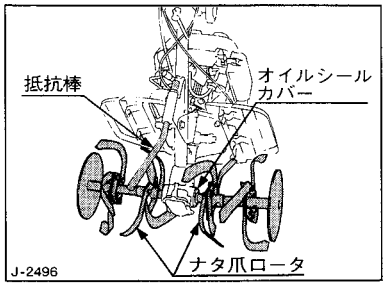
注　意

＊車のトランクに収納・運搬するときは，燃料コックを"S"(閉)にし，必ず燃料タンク内のガソリンを抜いてください。
またガソリンは，専用の容器に保管，管理してください。

❶燃料コックレバーを"S"(閉)にします。
❷燃料タンク内の燃料を抜いてください。(燃料は別に保管してください。)
❸機体を前方へ倒します。



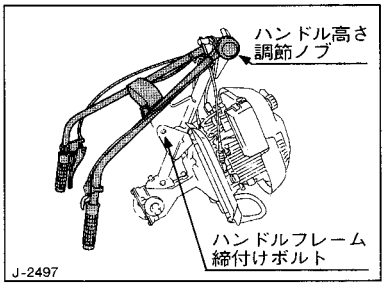
❹ナタ爪ロータを車輪から，また，抵抗棒をヒッチから取外します。



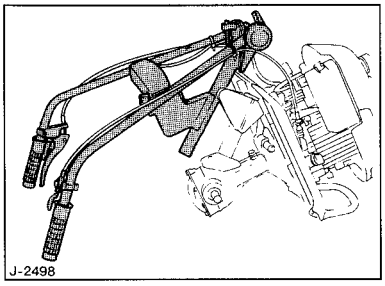
補　足

＊オイルシールカバーが落ちないように注意してください。

❺ハンドル高さ調節ノブをゆるめて，ハンドルを折りたたみます。
❻機体を持上げトランクの中に収納します。
❼ハンドルフレーム締付けボルトを外します。



❽ハンドルフレーム上部を持ち，上方へ引抜き機体のそばに置きます。



❾トランクを閉めます。
このとき機体に接触しないか，十分確認してください。
❿トランクからの取出しは，逆の順序で行ってください。

補　足

＊トランクへ収納したとき，機体が安定するようにしてください。
＊ロータを車軸に取付けるときは，オイルシールカバーの方向を確認し，必ず取付けてください。

付記　●主要諸元・主な消耗部品一覧表・標準付属部品・取付け部略図

■主要諸元

型式名		TMA25
機体寸法	全長	1065mm
	全幅	585mm
	全高	945mm
質量		30kg(ロータ付)
エンジン	名称	GS95V-T
	種類	空冷4サイクル 立軸形側弁式エンジン
	総排気量	91cm³
	連続定格出力	1.1kW(1.5PS)/3600rpm
	最大出力	1.8kW(2.4PS)
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
	燃料タンク容量	1.0L
	点火方式	無接点式マグネト点火
	始動方式	リコイル式
動力伝達方式		直結遊星ギヤー式
主クラッチ方式		ボール式
手元クラッチ方式		レバーロック式
変速段数		前進1段
車軸回転速度		117min^{-1}(rpm)
ハンドル上下調節		菊座式
ハンドル左右回動		左右各一段
標準ロータ耕うん幅		52cm

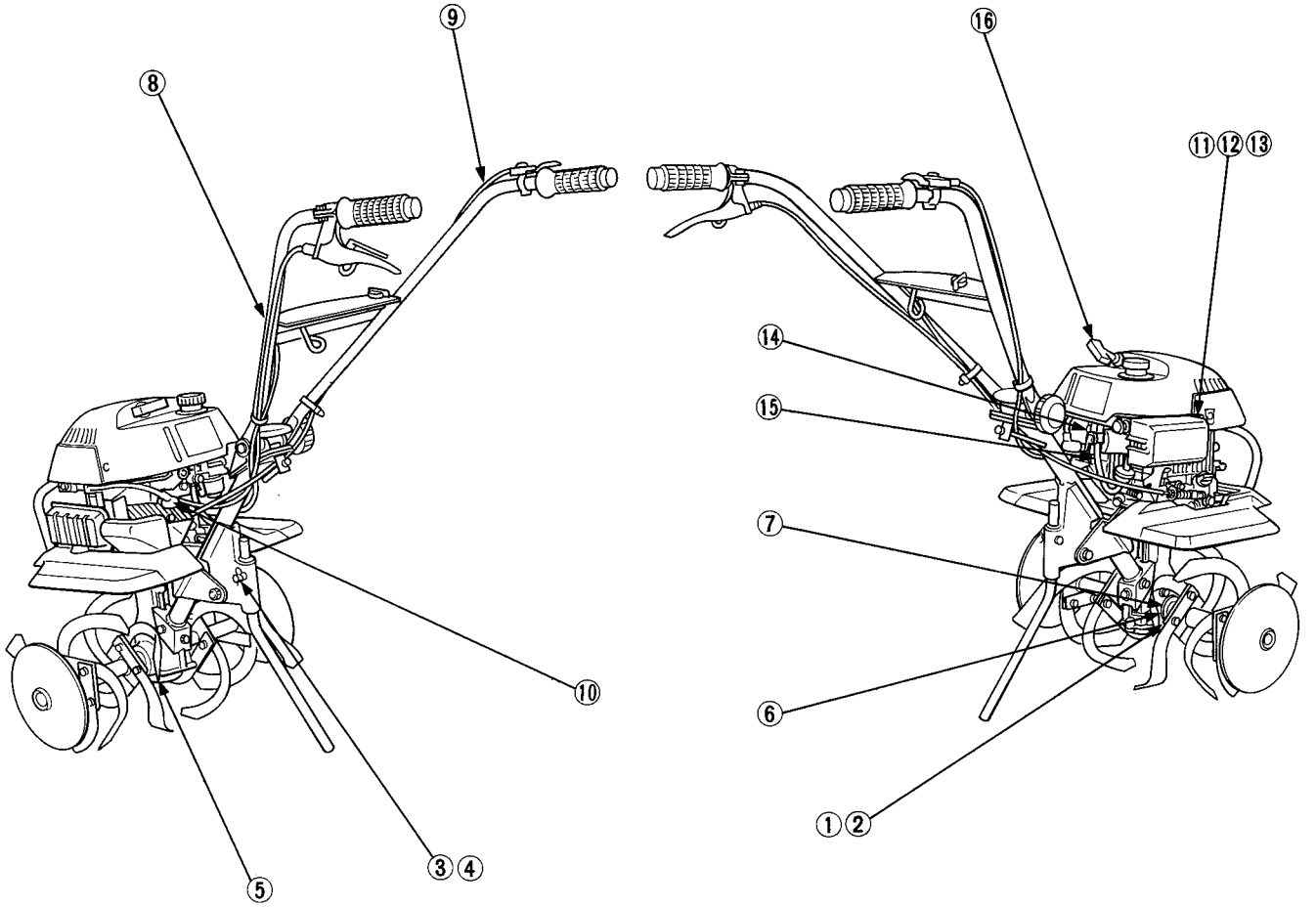
■消耗部品一覧表

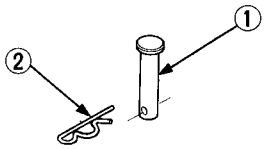
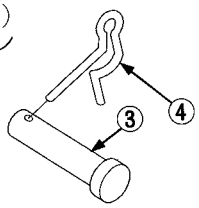
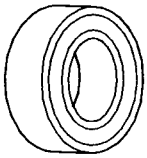
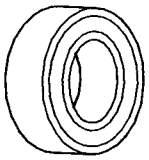
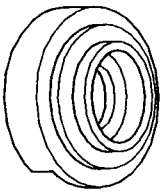
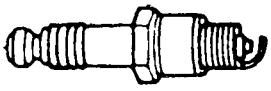
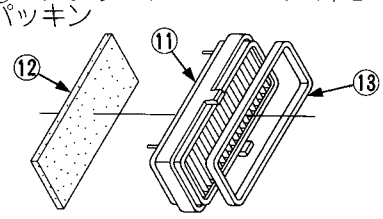
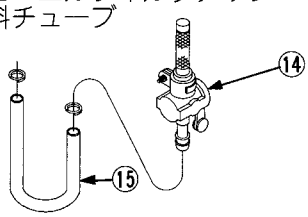
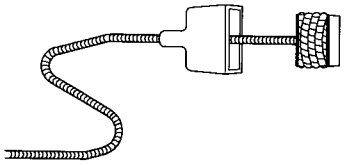
図番	品名	品番
1	車軸ピン	61141-1713-0
2	スナップピン	05515-5080-0
3	アタマツキピン(ヒッチピン)	05122-5084-5
4	スナップピン	05516-5080-0
5	オイルシール(左)	61141-1715-0
6	オイルシール(右)	61141-1714-0
7	オイルシールカバー	61141-1281-0
8	主クラッチケーブル	61141-4201-4
9	スロットルケーブル	61141-4322-2
10	点火プラグ	13281-6771-0
11	エアクリーナエレメント1	12763-1121-0
12	エアクリーナエレメント2	12763-1122-0
13	パッキン	12763-1151-0
14	フューエルフィルタアッシ	12111-4301-0
15	燃料チューブ	09661-5014-0
16	ハンドルアッシ	12763-6109-0

■標準付属部品

品名	数量/台	備考
ドライバ	1	+, −差換え式
プラグボックス	1	
10-14スパナ	1	
取扱説明書	1	
組付要領書	1	
保証書	1	

■取付け部略図



①車軸ピン ②スナップピン 	③アタマツキピン （ヒッチピン） ④スナップピン 	⑤オイルシール（車軸，左） 
⑥オイルシール（車軸，右） 	⑦オイルシールカバー 	⑩点火プラグ 
⑪⑫エアクリーナエレメント１，２ ⑬パッキン 	⑭フューエルフィルタアッシ ⑮燃料チューブ 	⑯ハンドルアッシ 

トラブルと処置

■エンジンが始動しないとき

原　　因	処　　置
＊始動の手順が間違っている。	➡ 正しい順序で始動する（ 6 ページ参照）
＊タンクにガソリンを入れたまま 1 ヵ月以上保管しガソリンが劣化した。	➡ タンク・キャブレター内の劣化したガソリンを排出し，新しいガソリンを入れる。
＊フューエルフィルタが目づまりしている。	➡ フューエルフィルタを外してエレメントを清掃する。 または新しい物と交換する。 キャブレター内のガソリンも排出する。
＊チョークを引いた（閉じた）状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。	➡ チョークを戻し（開き）リコイルを引くか，点火プラグを外して乾燥させる。
＊エンジン停止後，燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり，車両で運搬したためキャブレターがオーバフローした。	➡ クランクケース内にガソリンが混入していたら新しいエンジンオイルと交換する。
＊エアークリーナエレメントが目詰まりしている。	➡ エレメントを外して清掃する。 または新しい物と交換する。
＊点火プラグの火花が弱い，飛ばない。	➡ 点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。 または，新しい物と交換する。

■エンジンの回転が上がらない，不安定，出力が不足するとき

原　　因	処　　置
＊エンジンが暖まってもチョークを引いた（閉じる）まま運転している。	➡ チョークを戻す（開く）。
＊フューエルフィルタが目づまりしている。	➡ フューエルフィルタを外して清掃する。 キャブレター内のガソリンも排出する。
＊エアークリーナエレメントが汚れている。	➡ エレメントを外して清掃する。
＊スロットルケーブルの引張りが不足している。	➡ ケーブルのセット位置を調節する。

■異音がして，車軸が回転しないとき

原　　因	処　　置
＊主クラッチケーブルの調節不良。	➡ 正しく調節する。（主クラッチケーブルの調節の項参照）
＊緩衝装置が働いている。	➡ 緩衝装置が働いた場合の項参照。

■ハンドルのガタが多い

原　　因	処　　置
＊ハンドル部のガタが多い。	➡ **“ハンドル高さ調節ノブ”・“ハンドル回動レバー”“ハンドルフレーム締付けボルト”**を締直す。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは，販売店にご相談ください。

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は製造打ち切り後９年といたします。
ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因となります。

株式会社クボタ

機械札幌事務所：電(011) 662-2121　〒063-0061　札幌市西区西町北16丁目１番１号
機械東日本事務所：電(048) 862-1121　〒338-0832　浦和市西堀５丁目２番36号
機械西日本事務所：電(0722) 41-8506　〒590-0806　堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号
機械福岡事務所：電(092) 606-3161　〒811-0213　福岡市東区和白丘２丁目２番76号

株式会社クボタアグリ東日本
秋田事業所：電(0188) 45-1601　〒011-0901　秋田市寺内字大小路207-54
仙台事業所：電(022) 384-5162　〒981-1221　名取市田高字原182番地の１
東京事業所：電(048) 862-1124　〒338-0832　浦和市西堀５丁目２番36号
新潟事業所：電(025) 285-1261　〒950-0992　新潟市上所上１丁目14番15号

株式会社クボタアグリ西日本
金沢事業所：電(0762) 75-1121　〒924-0038　松任市下柏野町956-１
名古屋事業所：電(0586) 24-5111　〒491-0031　一宮市観音町１番地の１
大阪事業所：電(0722) 41-8550　〒590-0806　堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号
米子事業所：電(0859) 33-5011　〒683-0804　米子市米原７丁目１番１号
岡山事業所：電(086) 279-4511　〒703-8216　岡山市宍甘275番地
高松事業所：電(0878) 74-5091　〒769-0102　香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３

株式会社クボタアグリ九州
福岡事業所：電(092) 606-3725　〒811-0213　福岡市東区和白丘２丁目２番76号
熊本事業所：電(096) 357-6181　〒861-4147　熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１

品番 60802－6611－1

Kubota